

沖縄県地域外交推進のための戦略的ロードマップ（案）

2025年1月28日

沖縄県は、地理的、歴史的、文化的にユニークな立場を持ち、アジア・太平洋地域において特別な役割を果たせる地域です。「万国津梁」の理念は、琉球王国時代の国際的な架け橋としての役割を象徴し、現代の地域外交にも活かすべき重要な指針となります。

この機会に、沖縄県が独自の強みを活かしつつ、地域外交を推進するための具体策を提示します。就中、県民の意見や万国津梁会議での議論を踏まえ、地域外交エキスパート育成や国際協力体制の構築を中心に据えた戦略的アプローチを提案します。また、知事や副知事を中心としたトップセールス活動を効果的に進めるための戦略的準備と専門人材の育成の必要性を強調します。

1. 地域外交の特性

沖縄県の地域外交は、地理的な特性や歴史的・文化的背景を活かし、国際社会、地域課題の解決、人々の交流、情報発信などを重視します。

【例】環境保護、琉球文化交流、島嶼地域特有の課題解決。

【具体策】

島嶼地域が直面する気候変動や海洋保全の問題において、沖縄をモデルケースとする国際的な協力プロジェクトを展開。

琉球文化を基盤に、国際的な文化交流事業などを通じて地域のアイデンティティを発信。

2. 国際的課題への貢献

沖縄県は、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）や地球規模の課題解決において、地域レベルから具体的なアクションを推進します。

【具体策】

国連や国際機関と協力し、沖縄で再生可能エネルギー導入や廃棄物管理プロジェクトを実施。

太平洋諸国との共同プロジェクトを通じて、環境問題におけるリーダーシップを発揮。

PIF（太平洋諸島フォーラム）など地域国際機関との連携。

3. 地域外交の成果を県民に還元

沖縄県が主導する国際交流や協力の成果を、県内の経済活性化や教育、観光分野の発展に結び付けます。

【具体策】

海外でのトップセールス活動を通じて、具体的な投資誘致や観光ルート開発を実現。

海外地域との協定や連携プロジェクトの進展状況を県民に公開し、透明性を確保。

4. 地域外エキスパート育成プログラムの提案

(1)地域外エキスパート育成の必要性:

地域外交を担うには、高度な専門知識と国際的な交渉能力が必要です。

外務省が外交官を育成する研修制度を持つように、沖縄県にも類似の仕組みが必要です。

(2)育成プログラムの内容:

【国内研修】

琉球王国時代の歴史と外交戦略の学習。

地域環境問題、文化交流の専門知識を学ぶ講座。

【国際研修】

太平洋諸国や国際機関での実地研修。

国際会議への参加を通じた実践的な交渉スキルの習得。

語学の習得。

(3)人材登用の仕組み:

公募制を導入し、多様なバックグラウンドを持つ人材を地域外交エキスパートとして採用。

外部専門家や国際機関の協力を得て教育を強化。

5. トップセールス活動の戦略的展開

(1)知事・副知事によるトップセールスの重要性

沖縄県の地域外交において、知事や副知事が海外に出向き、現地の要人との交流や沖縄ルーツを持つ人々（県人会）との連携を深めることは、地域外交を進める上で重要な役割を果たしています。しかし、交流や表敬訪問に留まるのではなく、具体的な成果を上げ、それを県民や地域社会に還元することが不可欠です。

(2)成果を上げるための戦略的準備

海外訪問前に、訪問先の経済、文化、社会的背景を徹底的に調査。

現地での会談内容や成果目標を明確に設定。

訪問後、協定締結や共同プロジェクト開始など、具体的な形で成果を示します。

(3)知事を支える専門家チームの設置

トップセールス活動を成功させるためには、知事や副知事を支える専門家チームが必要です。

【提案】地域外交エキスパート育成プログラムで育てた人材を配置し、訪問先での交渉や協議を円滑に進めるための資料作成と調整を行う。

6. 実行体制とロードマップ

(1)地域外交推進本部の設置

地域外交に特化した専門機関を設置し、政策の一貫性を確保。

【具体策】国際機関や専門家を含む外部諮問委員会を設置。

(2)国際協力基金の設立

地域外交プロジェクトの財政基盤を強化。

【具体策】公的資金と民間投資を組み合わせたハイブリッドファンドを創設。

7. 10年間のロードマップ

短期（1～3年）：平和構築サミットと環境フォーラムの開催、地域外交エキスパート育成プログラムの試験導入。

中期（4～6年）：国際機関の沖縄拠点化、再生可能エネルギーの普及、ゴミ、水など島嶼地域に特化した問題解決に向けた取り組みを実行。

長期（7～10年）：沖縄をアジア・太平洋地域の平和と持続可能性の象徴的地域として確立。

沖縄県の地域外交は、その独自の地理的、歴史的、文化的特性を活かし、アジア・太平洋地域の平和、環境保全、持続可能な発展においてリーダーシップを発揮できます。本提案は、「沖縄県だからこそできる地域外交」をミッションとして、地域外交エキスパート育成プログラムを中核とした外交戦略を示します。これにより、沖縄は「21世紀の万国津梁」として国際社会で重要な役割を担い続けることが期待されます。

